油断しました…
まさかシャーレの先生に
捕まってしまうとは…

さて…
ニヤニヤ教授
キミにはいろいろと
聞きたい事がある

とりあえず
本当の名前を教えて
くれるかな？

……

私が捕まればアケミさんに
連絡がいくようになっています
ここは時間を稼ぐとしましょう

ほむ…
シャーレの先生…
私もお会いしたいと
思っていました


ですが
この扱いには
ガッカリです
ずいぶんと
趣味が悪いの
ですね…

多方面から慕われている
信用のできる大人と
伺っていましたが…

生徒をこんなところに
繋いで良心の呵責は
おありなのでしょうか？

質問に質問で返すのはよくないなまぁいいよ…

キヴォトスの生徒の力は危険だからねまして犯罪のコンサルタント…まず無力化するのは当然じゃない？

キミはなぜ
犯罪のコンサルタントを
してるんだい？
なにか目的があるの？

……

…ふむ
質問に答える気は
ないようだね

なら身体に
聞くしかないな♪

ピク

…ッ

安心して…
怪我させる
つもりはないから

チキ

ビクン

ミュイイイン

ミュイイイン

!

これはシャーレが誇る生徒尋問マシンだ

ミュイイイン

ミュイイイン

ビクン

ッ！

ヴヴヴ

くすぐったッ
んん…ッ

ぶるぶる

ッ…ッ！

振動ッ!?
どういうつもッ!?
うぅッ！

ヴヴ

ふっふっふ
これはどんな強い
生徒も情けなく
屈服させるぞ～♪

ゾクゾク

ッ！～ッ

序盤は
モニタリングしながら
性感帯以外をほぐして
感覚を底上げする

振動で
体中を刺激されッ
痛みはないですがッ
くぅぅ…

こうもッ
身じろぎ一つッ
できないのはッ
んんッ

ぶるぶる

〜〜ッ

いきなり
性感帯を責めても
効果は薄い

ゾクゾク

ッ…ッ…

だけどこうやって
周囲から追い詰めれば
どんな生徒にも…

効果は抜群だ

ビクッ

ﾍﾍﾍｯ♥

急所ッ♥
うッ♥
ッ♥

まってッ♥
これッ♥
あうッ♥

ゾクゾク

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

ダメッ♥
こ…このままじゃっ♥
くらッ♥

ぶるぶる

この私がッ♥
大人の前でッ♥
あぁぁッ♥

…ッ♥
…ッ♥

イ…イヤッ♥クるッ♥
絶頂ッ!?ダメッ♥

ガクガク

～ッ♥

堪えきれッ♥
あッ♥あッ♥あッ♥
だめぇ～～～♥

ヴヴヴ

ヴヴヴヴヴ♥

ヒ

ガクガク

〜ッ〜ッ♥

ふ…不覚を…♥
この私が…♥

可愛くイッたね♪
もう何をされるが
わかったでしょ？

ふっふっふ
早く素直になった方が
いいんじゃない？

ガクガク

この程度で…♥
いい気に…♥
うぅ…♥

…いいの？
後悔するよ？

いッいやッ♥
まってッ♥刺激ッ♥

ひんッ♥
身体ッ♥敏感ッ♥
これッ♥うぅッ♥

ヴヴヴ

〜ッ♥

だめッ♥まだッ♥
続けられッ♥

ぶるぶる
～～ッ♥

ずらせないッ♥
逃げられないッ♥
いやぁぁぁッ♥

クるッ♥
また醜態をッ♥
ダメッ♥

ガクガク

あ…あッ♥

ムリッ♥
ガマンできッ♥
んんッ♥んんんッ♥
んぁぁぁッ♥♥


はうッ♥くうッ♥
ビクビク

…あぁ…あぁ…♥

ガクガク

想定外…♥
こんな…ッ♥
辱めを…ううッ♥

ふっふっふ
どうだい？
質問に答える気に
なったかな？

く…下らない♥
こんなことで…♥

この私が…♥
口を割るとでも…♥
ううッ♥

ぶるぶる

イイね～
そうこなくちゃ♪

ふふ…絶頂の後は特に敏感で堪らないだろ？

ガクガク

ん…ん…ッ♥

ッ…ッ♥

ずっと刺激されッ♥
ツライッ♥ツライッ♥

ゾクゾク

くぅう♥

拘束がッ♥
ダメッ♥少しもッ♥
休めなッ♥ううッ♥

そッそんなッ♥
またッ♥絶頂ッ♥

ガクガク

ふ～ッ♥

まってッ♥
これ以じょッ♥
あッ♥あッ♥あッ♥
あぁぁぁぁッ♥

んあぁぁぁ♥♥

ヒ

はぅ…♥うぁ…♥

ガクガク

だめ…♥このままじゃ…♥でも…打つ手が…♥ううう…♥

いい声出るようになってきたね～でもここからが本番だぞ～♪


To be continued

さて…なかなか
ほぐれてきたね♪
ここからさらに
段階上げていくよ～♪

…くッ♥

次はこれ♪

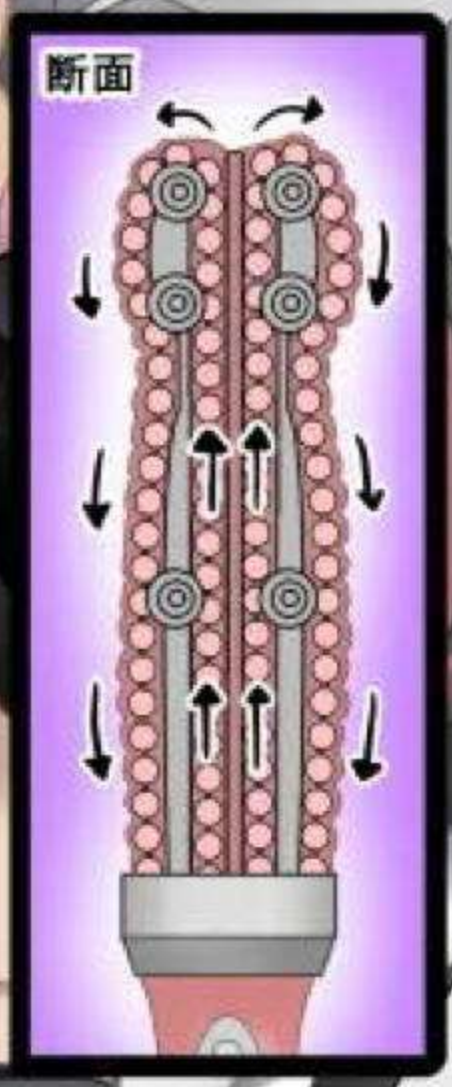
ピク

：：ッ！

中でシリコンが
ロールしてずっと
排泄感が続く
アナルバイブだよ

〜〜ッ！

とろ〜



ちょ…アナルッ♥
お尻のことですかッ♥

ぶるぶる

ムリですッ♥
やめッ♥

ビク

んあッ♥

ぷにぷにぷに

スイッチオン

ゾクゾク

くッ♥
んんんんッ♥

ヴィィィン

カチ

ヴィィィン

ヴィィィィィ

なんッ♥
ですかぁッ♥

おッおしりッ♥
んぁぁぁッ♥

ガクガク

あぁぁ♥

ヴヴヴ

ぢゅりりり

これを続けられると
トイレに行くたびに
発情する身体に
なっちゃうんだぞ♪

ぶるぶる

ヴヴヴ

じょッ冗談じゃッ♥
アケミさッ♥
早く助けにッ♥

あッ♥ダメッ♥
出続けッ♥
こんな快楽ッ♥

ゾクゾク

ううぅッ♥

ヴヴヴ

いやッ♥気持ちいいッ♥
ダメッ♥これはダメッ♥

ガクガク

〜〜〜ッ♥♥♥

ムリッ♥
達するッ♥うぁッ♥
うぁッ♥うぁぁッ♥

ヴヴヴ

ふくらッ

はッ♥はッ♥はッ♥

ガクガク

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

とめッ♥とめてッ♥
とめなさッ♥あうッ♥

ズクズク

あぁあぁあッ♥

喋る気になった？

ヴヴヴ

犯ッ罪のッ♥
コンサルタッ♥
このッ私がッ♥

こんなことでッ♥
あッ♥あッ♥あッ♥
くうううッ♥

ぶるぶる

ッ♥ッ♥

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

でも…さらに
ここを塞ぐと
どうなるのかな～♪

ビクン

ッッッ♥

ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ

ダッダメッ♥

あーーーッ♥

ヴヴヴ

ぐりぐりぐり

ヴヴヴ

あッ♥あッ♥
あッ♥あッ♥

あッ♥あッ♥
あぁぁぁッ♥

ガクガク

ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ

ラ ラ ラ ラ ッ ♥

ヒ

ヴヴヴ

快楽ッ♥怒涛のよッ♥
絶頂ッ♥降りれなッ♥

ひんッ♥ひんッ♥
ひんッ♥ひんッ♥
ふぎぃぃぃッ♥

ガクガク

〜ッ♥
〜ッ♥

もう
イキっぱなしだね♪

ヴヴヴ

ウィンウィン

ヴヴヴ

ぢゅりりり

あぁーーーッ♥
あぁーーーッ♥

あたまッ♥
こわれッ♥
うあぁぁッ♥

ゾクゾク

それそれ♪

ヴヴヴ

じぽじぽ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

おぉぉぉぉ♥

ビクン

ビクビク

ヴヴヴ

じぽじぽ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ガクガク

あぁ…♥ぁあッ♥

どうだい？
そろそろ
素直になった？

悔しいですがッ♥
こんなのムリですッ♥

ぶるぶる

いッ♥言いますッ♥
言いますうッ♥
私の名前はッ♥
♥

お？

ヴヴヴ


うぐッ
ヴヴヴ
ヴヴヴ
ヴヴヴ

ふこッふくく…

ぶるぶる

い…言うと言ってるのにまさかッ!?

すまないね連日の激務でストレスが溜まっているんだ

キミは都合よく
全く遠慮の
いらない生徒だ…

ピク

ッ！

もう暫く
楽しませて貰うよ♪

ぢゅりりり

ガクガク

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

おッ♥おッ♥
ふぐうッ♥

ぐうッ♥
ふぎいいッ♥

ゾクゾク

すちゅ
すちゅ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ふぐッ♥
ふぎゅうッ♥

ガクガク

いいようにッ♥
犯されッ♥
イかされ続けッ♥
あうぅッ♥

ずちゅ
ずちゅ

ヴヴヴ

さぁ犯罪教唆する
生意気ロリ生徒には
お仕置きだよ♪

ダメッ♥ダメェッ♥
もッ♥ムリッ♥

もッ♥ゆるしッ♥
あうッ♥はうッ♥
ふぁぁぁぁッ♥

ゾクゾク

ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ

シッ♥
シッ♥

すぢゅ
すぢゅ

ぢゅりりり

出すぞ～
ストレス発散
無責任中出し！

ふうううッ♥

ビクン

ビクン

ヴヴヴ

ふぉ…♥はふぅッ♥

ガクガク

な…なかに…♥
ううう…ッ♥

ふぅ…
最高だ…

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

だがまだ
満足できない
残りも出し切る！

ビクン

うぁッ♥
ふぐぅッ♥

ヴヴ
ヴヴ
ヴヴ

おッ♥終わらなッ♥ひいッ♥

いい加減ッ♥ひんッ♥ひんッ♥んぁぁぁッ♥

ガクガク

〜ッ♥はうッ♥

すぢゅ

すぢゅ

ぢゅりりり

もうイキたくッ♥
助けッ♥あッ♥あッ♥あッ♥

あううッ♥
いやぁぁぁッ♥

ゾクゾク

ふごッ♥
ふぎゅッ♥

ずちゅ
ずちゅ

う…ッ♥あッ♥
大きいのッ♥
クるうッ♥

ガクガク

おッ♥おッ♥

限かッ♥
もうダメッ♥
もぉダメェッ♥

ヴヴヴ

すちゅ
すちゅ

ヴヴヴ

ぢゅりりり

食らえッ♪
もう一発♪

ビクン

ビ

ンンンン♥

ヴヴ

ヴヴヴ

ぶるぶる

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

結局頼みの綱の
アケミは
助けに来なかった…

それから3日間
私は自白も許されず
ただただ
性的な拷問を
受け続ける…

ガクガク

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ふぐぅぅッ♥

ビクン

ビク

ひたすら
辱められた

嬌声を鳴らす
玩具のように…

ふぐーーッ♥

〜〜ッ♥

ぶるぶる

ヴヴ

ヴヴヴヴヴ

ヴヴヴヴヴ

ずちゅ

ずちゅ

ずりりり

出すぞ！
受け止めろ！

んんんん♥

ビ

ビュルルル

ず!!ちゅ

そして
何度も何度も射精された

私の気高い知性と尊厳は
恥辱と被虐で塗りつぶされた

目が覚めると
私は公園のベンチに
寝かされていた

夢ではない…
忘れられるわけがない…

許さない…

復讐を誓う…

だがその決意とは裏腹に
私にはまるで自信がなかった…

強烈に刻まれた
被虐と快楽…

『また味わいたい』と…

意に反して体が疼いてしまっていた…

自信がなかった…
またあの大人を前にした時

私はきっと拒めない…
そんな予感がしていた…

ニヤニヤ教授捕まえた

END

油断しました…
まさかシャーレの先生に
捕まってしまうとは…

さて…
ニヤニヤ教授
キミにはいろいろと
聞きたい事がある

とりあえず
本当の名前を教えて
くれるかな？

……

私が捕まればアケミさんに
連絡がいくようになっています
ここは時間を稼ぐとしましょう

ほむ…
シャーレの先生…
私もお会いしたいと
思っていました


ですが
この扱いには
ガッカリです
ずいぶんと
趣味が悪いの
ですね…

多方面から慕われている
信用のできる大人と
伺っていましたが…

生徒をこんなところに
繋いで良心の呵責は
おありなのでしょうか？

質問に質問で
返すのはよくないな
まぁいいよ…

キヴォトスの
生徒の力は危険だからね
まして犯罪のコンサルタント…
まず無力化するのは当然じゃない？

キミはなぜ
犯罪のコンサルタントを
してるんだい？
なにか目的があるの？

……

…ふむ
質問に答える気は
ないようだね

なら身体に聞くしかないな♪

ピク

……ッ

安心して…怪我させるつもりはないから

チキ

ビクン

ミュイイイン

ミュイイイン

!

これはシャーレが誇る生徒尋問マシンだ

ミュイイイン

ミュイイイン


ビクン
ッ！
ヴヴ

くすぐったッ
んん…ッ

ぶるぶる

ッ…ッ！

振動ッ!?
どういうつもッ!?
うぅッ！

ヴヴヴ

ふっふっふ
これはどんな強い
生徒も情けなく
屈服させるぞ～♪

ゾクゾク

ッ！～ッ

序盤は
モニタリングしながら
性感帯以外をほぐして
感覚を底上げする

振動で
体中を刺激されッ
痛みはないですがッ
くぅぅ…

こうもッ
身じろぎ一つッ
できないのはッ
んんッ

ぶるぶる

ヴヴ

～～ッ

いきなり
性感帯を責めても
効果は薄い

ゾクゾク

ッ…ッ…

だけどこうやって
周囲から追い詰めれば
どんな生徒にも…

効果は抜群だ

ビクン

ﾌﾞﾌﾞｯ♥

ヴヴ

急所ッ♥
うッ♥
ッ♥

まってッ♥
これッ♥
あうッ♥

ゾクゾク

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

ダメッ♥
こ…このままじゃっ♥
くらッ♥

ぶるぶる

この私がッ♥
大人の前でッ♥
あぁぁッ♥

…ッ♥
…ッ♥

イ…イヤッ♥クるッ♥
絶頂ッ!?ダメッ♥

ガクガク

～ッ♥

堪えきれッ♥
あッ♥あッ♥あッ♥
だめぇ～～～♥

ヴヴヴヴヴヴ♥

ヒ

ふ…不覚を…♥
この私が…♥

ガクガク

〜ッ〜ッ♥

可愛くイッたね♪
もう何をされるが
わかったでしょ？

ふっふっふ
早く素直になった方が
いいんじゃない？

ガクガク

この程度で…♥
いい気に…♥
うぅ…♥

…いいの？
後悔するよ？

いぃいやッ♥
まってッ♥刺激ッ♥

ひんッ♥
身体ッ♥敏感ッ♥
これッ♥うぅッ♥

ヴヴヴ

〜ッ♥

だめッ♥まだッ♥
続けられッ♥

ずらせないッ♥
逃げられないッ♥
いやぁぁぁッ♥

ぶるぶる

〜〜ッ♥

クるッ♥
また醜態をッ♥
ダメッ♥

ガクガク

あ…あッ♥

ムリッ♥
ガマンできッ♥
んんッ♥んんんッ♥
んぁぁッ♥♥

はうッ♥くうッ♥

…あぁ…あぁ…♥

ガクガク

想定外…♥
こんな…ッ♥
辱めを…ううッ♥

ふっふっふ
どうだい？
質問に答える気に
なったかな？

く…下らない♥
こんなことで…♥

この私が…♥
口を割るとでも…♥
うぅッ♥

ぶるぶる

イイね～
そうこなくちゃ♪

ふふ…絶頂の後は
特に敏感で
堪らないだろ？

ガクガク

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

ずっと刺激されッ♥
ツライッ♥ツライッ♥

ゾクゾク

くぅう♥

拘束がッ♥
ダメッ♥少しもッ♥
休めなッ♥ううッ♥

そッそんなッ♥
またッ♥絶頂ッ♥

ガクガク

ふ～ッ♥

まってッ♥
これ以じょッ♥
あッ♥あッ♥あッ♥
あぁぁぁぁッ♥

んあぁぁぁ♥♥

ビー

はぅ…♥うぁ…♥

ガクガク

だめ…♥このままじゃ…♥でも…打つ手が…♥ううう…♥

いい声出るようになってきたね～でもここからが本番だぞ～♪


To be continued

さて…なかなか
ほぐれてきたね♪
ここからさらに
段階上げていくよ～♪

…くッ♥

次はこれ♪

ピク

：：ッ！

中でシリコンが
ロールしてずっと
排泄感が続く
アナルバイブだよ

〜〜ッ！

ムロ〜

断面

ちょ…アナルッ♥
お尻のことですかッ♥

ぶるぶる

ムリですッ♥
やめッ♥


んあッ♥
ぐぐぐ
ぷにぷにぷに

スイッチオン

ヴクヴク

くッ♥
んんんんッ♥

ヴィィィィ

ヴィィィィ

カチ

なんッ♥
ですかぁッ♥

おッおしりッ♥
んぁぁぁッ♥

ガクガク

あぁぁぁ♥

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

これを続けられると
トイレに行くたびに
発情する身体に
なっちゃうんだぞ♪

ぶるぶる

ヴヴ

ヴヴヴヴ

～～～ッ♥

そろそろ
名前くらいは
喋った方が
いいんじゃない？

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

じょッ冗談じゃッ♥
アケミさッ♥
早く助けにッ♥

あッ♥ダメッ♥
出続けッ♥
こんな快楽ッ♥

ゾクゾク

ううぅッ♥

ヴヴヴ

いやッ♥気持ちいいッ♥
ダメッ♥これはダメッ♥

ガクガク

〜〜〜ッ♥♥♥

ムリッ♥
達するッ♥うぁッ♥
うぁッ♥うぁぁッ♥

ヴヴヴ

ふくらッ

はッ♥はッ♥はッ♥

ガクガク

ヴヴ

ヴヴヴヴヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

盛大に
漏らしたね

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

とめッ♥とめてッ♥
とめなさッ♥あうッ♥

ズクズク

あぁあぁあッ♥

喋る気になった？

ヴヴ

ヴヴヴヴ

ぢゅりりり

犯ッ罪のッ♥
コンサルタッ♥
このッ私がッ♥

こんなことでッ♥
あッ♥あッ♥あッ♥
くうぅうッ♥

ぶるぶる

ッ♥ッ♥

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

でも…さらに
ここを塞ぐと
どうなるのかな～♪

ビクン

ッッッ♥

ダッダメッ♥

あーーーーッ♥

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

あッ♥あッ♥
あッ♥あッ♥

あッ♥あッ♥
あぁぁぁッ♥

ガクガク

ヴヴ
ヴヴ
ヴヴヴヴ
ヴヴ
ヴヴ

ラララララッ♥

ヴヴヴ

快楽ッ♥恍惚のよッ♥
絶頂ッ♥降りれなッ♥

ガクガク

ヒンッ♥ヒンッ♥
ヒンッ♥ヒンッ♥
ふぎぃぃぃッ♥

ヴヴヴ

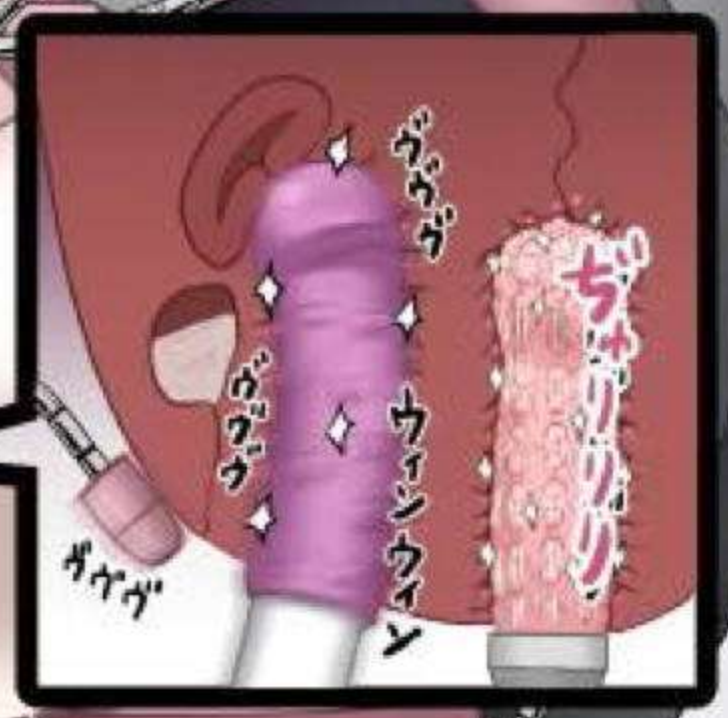
〜ッ♥
〜ッ♥

もう
イキっぱなしだね♪

ウィンウィン

ヴヴヴ

ぢゅりりり



あぁーーーッ♥
あぁーーーッ♥

あたまッ♥
こわれッ♥
うあぁぁッ♥

ヴヴヴ

それそれ♪

じゅぽ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

おぉぉぉぉ♥

ビクン

ビクビク

ヴヴヴ

じぽじぽ

ヴヴヴ

ぢゅりりり

ヴヴヴヴ

ウィンウィン

ヴヴヴ

ガクガク

あぁ…♥ぁあッ♥

どうだい？
そろそろ
素直になった？

悔しいですがッ♥
こんなのムリですッ♥

ぶるぶる

ヴヴヴ

いッ♥言いますッ♥
言いますうッ♥
私の名前はッ♥

お？

ヴヴヴ

ぢゃりりり

うぐッ

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

ふこッふくく…

ぶるぶる

い…言うと言ってるのにまさかッ!?

すまないね連日の激務でストレスが溜まっているんだ

ヴヴヴ

ぢゅりりり

キミは都合よく
全く遠慮の
いらない生徒だ…

ピク

ッ！

ヴヴ

もう暫く
楽しませて貰うよ♪

ぉっぺッ♥

ふぐうッ♥

ヴヴヴ

すりすり

ヴヴヴ

ぢゅりりり

ガクガク

ヴヴヴ

おッ♥おッ♥
ふぐうッ♥

ぐうッ♥
ふぎいいッ♥

ゾクゾク

ヴヴヴ

ずちゅ
ずちゅ

ぢゅりりり

振動と
アナルロールの
感触が伝わって
凄いな！

ふぐッ♥
ふぎゅうッ♥

ガクガク

いいようにッ♥
犯されッ♥
イかされ続けッ♥
あうぅッ♥

さぁ犯罪教唆する
生意気ロリ生徒には
お仕置きだよ♪

ずちゅ
ずちゅ

ダメッ♥ダメェッ♥
もッ♥ムリッ♥

もッ♥ゆるしッ♥
あうッ♥はうッ♥
ふぁぁぁぁッ♥

ゾクゾク

ヴヴ

ヴヴヴヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

ふ ら ら ら ッ ♥

ビ ク ン

ビ ク ン

ヴ ヴ ヴ

ふぉ…♥はふぅッ♥

ガクガク

な…なかに…♥
ううう…ッ♥

ふぅ…
最高だ…

ヴヴヴ

ぢゅりりり

だがまだ
満足できない
残りも出し切る！

ビクン

うぁッ♥
ふぐぅッ♥

ヴヴ

ヴヴヴヴ

ヴヴヴヴ

ずちゅ

ずちゅ

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

おッ♥終わらなッ♥ひいッ♥

いい加減ッ♥ひんッ♥ひんッ♥んぁぁぁッ♥

ガクガク

〜ッ♥はうッ♥

ずちゅ

ずちゅ

ヴヴヴヴヴ

もうイキたくッ♥
助けッ♥あッ♥あッ♥
あうぅッ♥
いやぁぁぁッ♥
ゾクゾク
ふごッ♥
ふぎゅッ♥
ヴヴヴ
ヴヴヴ
ヴヴヴ

う…ッ♥あッ♥
大きいのッ♥
クるうッ♥

ガクガク

おッ♥おッ♥

限かッ♥
もうダメッ♥
もぉダメェェッ♥

ヴヴヴ

ずちゅ
ずちゅ

ぢゅりりり

食らえッ♪
もう一発♪

ビクン

ビクビク

ンッ♥

ヴヴヴ

ぶるぶる

ヴヴヴ

ヴヴヴ

ヴヴヴ

結局頼みの綱の
アケミは
助けに来なかった…

それから3日間
私は自白も許されず
ただただ
性的な拷問を
受け続ける…

ララッ♥

ガクガク

〜ッ♥

そ〜れ♪
そ〜れ♪

ふぐぅぅッ♥

ビクン

ビク

ひたすら
辱められた

嬌声を鳴らす
玩具のように…

ふぐーーッ♥

〜〜ッ♥

ぶるぶる

ヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

ん…ん…ん…ん♥

ヒ

ヴヴ

ヴヴヴヴヴヴ

ヴヴヴヴヴヴ

ヴヴ

ヴヴ

そして
何度も何度も射精された

私の気高い知性と尊厳は
恥辱と被虐で塗りつぶされた

目が覚めると
私は公園のベンチに
寝かされていた

夢ではない…
忘れられるわけがない…

許さない…

復讐を誓う…

だがその決意とは裏腹に
私にはまるで自信がなかった…

強烈に刻まれた
被虐と快楽…

『また味わいたい』と…

意に反して体が疼いて
しまっていた…

自信がなかった…
またあの大人を前にした時

私はきっと拒めない…
そんな予感がしていた…

ニヤニヤ教授捕まえた

END